日本共産党100年の欺瞞（ぎまん）

1922年7月、「コミンテルン（国際共産党＝第３インターナショナル）日本支部」として発足した日本共産党。党機関紙「しんぶん赤旗」号外チラシ「あなたの『？』におこたえします　日本共産党綱領の話」（写真㊧）で「党綱領」をソフトな語り口で紹介している体裁ですが、実はツッコミどころが満載です。そんな共産党の「欺瞞」（ウソ）を見抜いていきましょう。

「自衛隊活用」は「ご都合主義」。

●ロシアのウクライナ侵略で、共産党の志位和夫委員長は「急迫不正の主権侵害が起こった場合には、自衛隊を含めてあらゆる手段を行使して、国民の命と日本の主権を守りぬく」と「自衛隊活用」論を主張（2022年4月7日）。

松井一郎・日本維新の会代表は「綱領で《自衛隊の解消》と掲げながら、いざという時は憲法違反の自衛隊を活用する志位氏の発信は《ご都合主義》」と批判。

実際の「綱領」でも「自衛隊解消」を掲げる上、国民を守る自衛隊の予算を「人を殺すための予算」と幹部（藤野保史政策委員長、2016年）が暴言を吐いたのです。

「米軍は日本守らぬ」のウソ。

●「赤旗号外」チラシに「沖縄の米軍は日本を守らない」とありますが、そもそも在日米軍は「インド太平洋地域における力による一方的現状変更を許さない」ことが最大の任務です。ウクライナ情勢を踏まえれば、日米同盟のような集団安全保障と「核の傘」（拡大抑止）の重要性が高まっているのは明らかで、2022年5月の日米防衛相会談でもそのことが確認されました。

「日米同盟破棄」と「自衛隊解消」で「9条完全実施」の怪。

●「赤旗号外」では日米同盟を「なくしてこそ平和なアジアに」とうたいつつ、別の箇所では中国の覇権主義を批判しますがそれを防ぐ方法には全くふれません。現実には米軍を軸としたアジア太平洋戦略が抑止しています。にもかかわらず「綱領」では「日米安保破棄」し、「米軍とその基地を撤退」させた上での「自衛隊の解消」こそが「憲法９条の完全実施」だと位置づけますが、まさに「ご都合主義」の極みなのです。

号外
令和4（2022）年
夏　期
タブロイド判4頁
月2回刊
〔第3種郵便認可〕

思想新聞
The Shiso Shimbun

発　行／IFVOC
〒150-0042 東京都
渋谷区宇田川町36-6
ワールド宇田川ビル9F
TEL 03-3496-7433
© 国際勝共連合 2022
※公式サイトはQRコードからアクセス

「共産主義で自由が花開く」って ご冗談でしょう？日本共産党さん。

ロシア軍がウクライナを軍事侵略（2022年）

House in Kyiv, on Valeriy Lobanovskyi Avenue, 6-A after shelling during Russian invasion of Ukraine 2022. (Attribution: Kyivcity.gov.ua)

ハンガリー動乱（1956年）

チェコ事件（1968年）

「暴力革命」を放棄してません。

●「赤旗号外」チラシに「日本共産党は『暴力革命』とまったく無縁です。公安調査庁が60年以上調べても何も出てこないことが証拠です」とありますが、実は70年前には「血のメーデー事件」や連続警官襲撃事件などを次々に起こしているのです。

これは国際共産党の「暴力革命」路線（51年綱領）に基づくものですが、その後「宮本（61年）綱領」により「革命の形態が平和的になるか、非平和的になるかは敵の出方による」という「敵の出方論」については、警察庁と公安調査庁の認識が、次の政府答弁として閣議決定されています。

2021年6月、政府は鈴木宗男参院議員の質問に、「共産党は『暴力革命の方針』に変化はない」とし、「『破防法』（破壊活動防止法）調査団体である」と2015年に続き閣議決定しているのです。

2021年9月、共産党は暴力革命を捨てない根拠とされた「敵の出方論という表現を使わない」としましたが、これは「放棄」とは異なり「表現の不使用」としたにすぎません。

「ウクライナ侵略」はソ連の再現。

●「赤旗号外」チラシでは「資本主義は終着駅ではなく、社会主義・共産主義に進み、人間の自由が花ひらく」といいます。

ところが、共産主義を奉じた一党独裁の中国や北朝鮮はどうでしょうか。共産主義の途上という社会主義社会では極端に自由が制限され、チベット・ウイグルの少数民族が弾圧され、ジェノサイドが行われています。

さらに、今日のロシアによるウクライナ侵略は、かつてのソ連共産主義政権による東欧の主権国家を弾圧した「ハンガリー動乱」（1956年）や「チェコ事件」（1968年）など、「自由」を求める民主化運動を武力で鎮圧したことと変わりません。それはプーチン大統領がかつてFSB（連邦保安庁。KGBの後身）の長官だったことに起因するとも言えます。

中国における1989年の「天安門事件」もそうです。つまり党や政府と異なる意見を持つ人間の自由を著しく損ねるのが共産主義理念に基づく一党独裁なのです。

ですから、「共産主義で人間の自由が花ひらく」って、ご冗談でしょう、日本共産党さん。